

ながじんまがじん

Vol. 96

腎臓病専門施設である長崎腎病院・クリニック広報誌

Take free



- ◆新年のご挨拶
- ◆アメリカ腎臓病学会 参加報告
- ◆感染情報「急増する梅毒」
- ◆在宅血液透析「地域連携講演会のご案内」
- ◆第7回部署紹介「病棟看護課」
- ◆安全管理「転倒・転落予防について」
- ◆こくら庵便り「こくら庵の暮らし」
- ◆新・制服紹介



新年のご挨拶

皆様、新年あけましておめでとうございます。さて、今年2020年の世界のキーワードは間違いなく『環境問題』、つまり気候温暖化です。地球は確実に温暖化が進んでおり、台風は大型化して建物や生活やインフラの被害は広がり、一方各地で干ばつは農業に深刻な打撃を与えています。ところで、これらは半世紀以上前から問題となっており、多くの環境保護団体が声を嚙らして危機感を訴えていたのに、なぜ今頃になって突如として騒がれ始めたのでしょうか？

それは経済への甚大な影響を、政治家・企業・投資家が去年になってやっと気づき始めたからだと思われます。ここ数年の異常気候にまず反応したのが世界中の保険会社で、自然災害に対して支払う住宅保健や災害保険が、年々加速することに強い危機感を抱いたことから、各企業や政治が注目し始めました。すごく単純なことなのですが、多くの大人は「儲ける」ことだけ考えていて、「損する」ことは考えていないということでしょうか。10代の環境活動家、グレタ・トゥンベリさんが9月の国連総会で、熱烈な演説で呼びかけたのは良いタイミングだったと思います。誰もが気付いているのに誰も口にしない事を、子供に言われて皆が言い始めた…どこかで聞いたことのある物語ですね。まさに『裸の王様』のように愚かな話です。

裸の王様



理事長 船越 哲



気候温暖化防止のために私達が今日からできる事はたくさんあります。公共交通機関を利用する、買い物の時は袋を持参する、食糧を無駄にしない、熱中症にならない程度に節電する…つまり「不便なこと」を敢えてやりましょう。

ところで、トゥンベリさんは演説のときには少し怖い顔をしています、実際にはこのように笑顔の素敵な普通の女の子です。

新・制服紹介

この度、スタッフの制服が新しく変更されました。各部署の制服を紹介します。



アメリカ腎臓病学会 参加報告

腎病院 看護部
井手真澄



2019年11月5日から11月13日まで、ワシントンで開催されたアメリカ腎臓病学会に参加してきました。当院からは、4演題のポスター発表をさせて頂きました。学会会場の建物の規模はかなり大きく、会場内では数えきれないほどのポスター掲示に数多くの講演が行われていました。医療関係者も当然の事ながら人種も様々で、英語を苦手とする私にとっては未知の空間でした。言葉の壁が無ければ、もっと沢山のポスターを見て質問などができるのと思っていたのですが、現代の携帯はかなり優秀で、アプリを使えば自動で翻訳し他国の人ともコミュニケーションが取れてしまうんですね。私個人としては褥瘡の治癒について発表されているポスターが気になり、他国の方でしたがアプリを使用して質問をさせて頂きました。褥瘡は看護師にとって患者さんへのケアでとても身近ですが、同時に早期発見や根気強い治療が必要です。その為とてもいい体験になりました。研修の後半では、今年サイコネフロロジー研究会でも講演して下さい、ダニエルスコー先生が勤務されているニューヨークの病院へも行かせて頂きました。在宅透析患者さんを指導する専用の部屋があり、在宅血液透析専用装置を使用されており、技術習得までも短い期間で行えているとの事でした。日本では難しいようですが、叶えば、もっと多くの透析患者さんが負担なく治療選択ができるのではないかと思います。

今回のアメリカ研修では、ニューヨークでNBA観戦をしてきました！！今や日本のスターである八村塁選手が所属するウィザーズの試合でした！本場の会場での熱気と、本物のNBA選手の存在感に興奮しっぱなしでした。八村選手は身長203cmあるにも関わらず、他の選手と比べると細く感じましたが、オーラは凄かったです！華麗なシュートを入れる度に私達も日本から持参した応援ボードをかざして大盛り上がりでしたが、それ以上に現地のファンの方達はとても熱狂的で身体全身で表現しながら応援されていたのが印象的でした。言葉や人種が違って、世界から応援される八村塁選手！夢を持ち続けて努力した結果なんだと思います。今回のアメリカ研修で壮大な風景や、人、建物など色々な場所で今まで見たことも色々な事を感じました。こんな素敵な経験は今後ないかもしれませんが、日頃の仕事や日頃の生活の中で、自分自身が変化していけるよう、いくつになっても夢を持ち続けたいなと思います。





急増する梅毒患者

検査課 田川秀明

【男性患者の70%が30歳以上、女性患者の60%が29歳以下】

梅毒の患者数は近年増加傾向にあり、国立感染症研究所によると、2017年の梅毒の患者数は5820人で、44年ぶりに5000人を超え、さらに2018年は6000人を越え、今後も患者数の増加が予想され注意が必要とされています。又、2016年に梅毒になった患者を調査すると、男性は30歳以上の患者が多く、一方、女性患者の多くは29歳以下でした。若い年代に流行している、身近な性感染症となっています。

【梅毒とは】

梅毒は、性的な接触(他人の粘膜や皮膚と直接接触すること)などによってうつる感染症です。原因は梅毒トレポネーマという病原菌で、病名は症状にみられる赤い発疹が楊梅(ヤマモモ)に似ていることに由来します。梅毒に感染すると、1～3か月くらいたってから、感染した部分に小さな「しこり」(初期硬結といいます)や潰瘍ができたりします。これらの症状は痛みや痒みを伴わないことが多く、治療しなくても自然に良くなってしまうため、見逃されてしまう可能性があります。初期の局所症状が消えて、しばらく経過してから(4～10週間が多い)、全身に発疹がでることがあります。この発疹は手のひらや足の裏にもでやすいことが特徴です。

この発疹も、治療しなくても通常は数週間～数か月で自然に軽快してしまいます。そして、症状のない時期(無症候期)となりますが、それでも病期は静かに進行していきます。梅毒にかかっても早期の薬物治療で完治が可能です。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

【まとめ】

時に無症状になりながら進行するため、治ったことを確認しないで途中で治療をやめてしまわないようにすることが重要です。又、自覚がないまま他人に感染させてしまうケースも多いそうです。

少しでも異変を感じたり、何か心当たりがあったら、まずは検査を受けてみるのがよいでしょう。梅毒に感染したかどうかは医師による診察と、血液検査(抗体検査)で判断します。梅毒に感染していたとわかった場合は、感染の可能性がある方(パートナー等)と一緒に検査を行い、一緒に治療を行うことが重要です。



新制服紹介





地域連携講演会開催のご案内

事務課 城戸優実

当院では定期的に地域連携講演会を開催しており、1月26日(日)長崎県立図書館にて、第7回目の地域連携講演会を開催致します。今回は、品川ガーデンクリニック院長の若井陽希先生をお迎えし「在宅血液透析の現在と未来(仮題)」のテーマでご講演して頂きます。

これまでも、在宅血液透析にフォーカスした講演会を開催して参りました。毎回、非常に多くの方にご参加頂き誠にありがとうございます。

今後も当院では定期的な地域連携講演会の開催を予定しております。在宅血液透析に関するお話が聴ける貴重な機会となりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



第3回「在宅血液透析について」

船越 哲 理事長

第4回「自給自足の島暮らし

～在宅透析ですますす日々を満喫中！～」

小野 千鶴 様

「透析者の不眠について」

麻生 忠史 先生

(田川療養所精神科診療部長)

第5回「在宅血液透析で、元気をあきらめない

～自給自足の島暮らし～

小野 千鶴 様



病棟看護課

病棟看護師 丸田麻莉絵

当院には、5階と6階に病棟があります。

透析治療に必要なシャントのトラブルだけでなく、循環器・呼吸器・消化器等の疾患で入院加療を必要とする患者さんや術後のリハビリが必要な患者さんが安全・安楽に入院生活を送れるように観察や日常生活の援助を行っています。

5階病棟には6室の有料個室があり快適に入院生活を送れ、開放的なラウンジでは面会者との落ち着いた時間を過ごすことが出来ると思います。

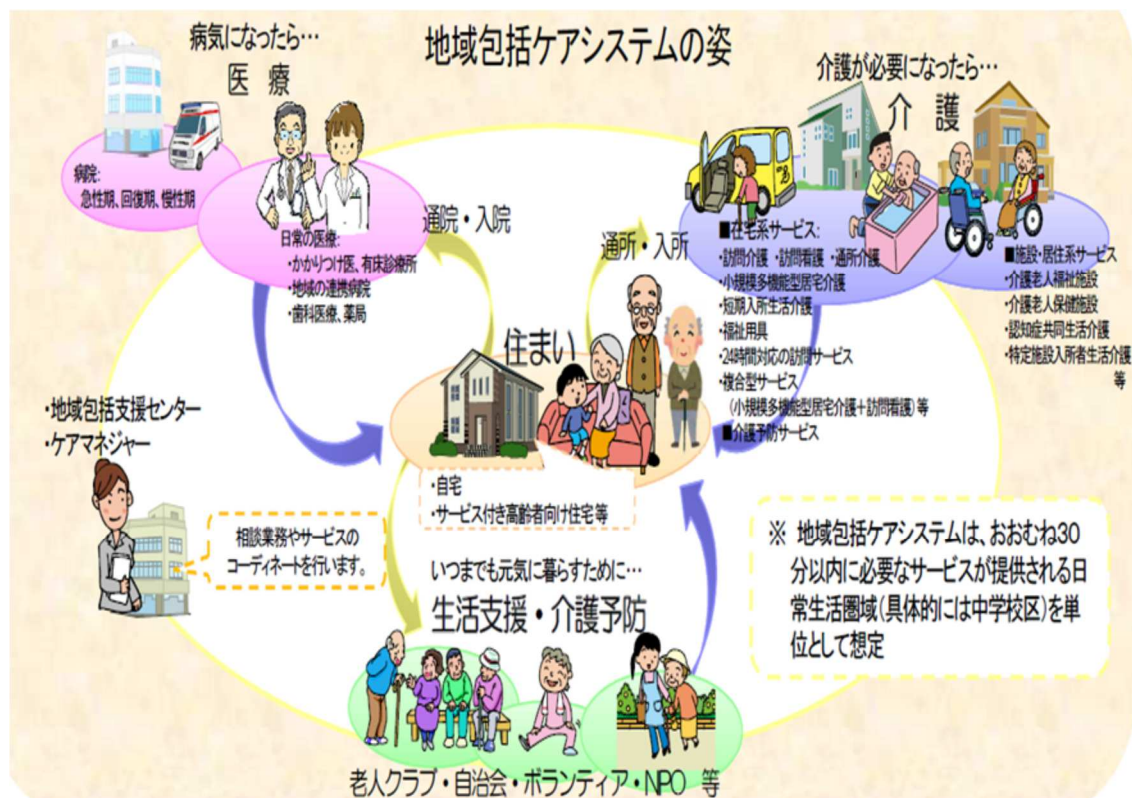
6階病棟には特浴室があり、骨折や麻痺等でベッド上生活を余儀なくされた患者さんが、寝たまま入浴を行うことが出来ます。

2025年には団塊の世代が後期高齢者となります。

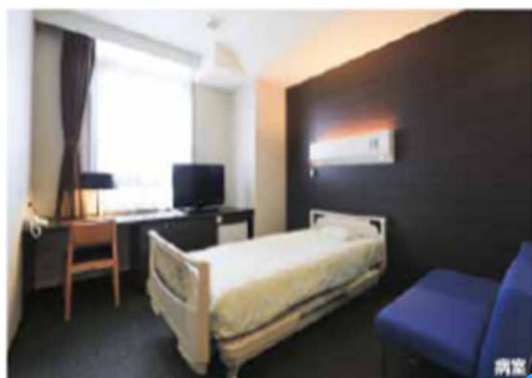
さらに高齢化が進む中、「地域包括ケアシステム」を国全体で取り組んでいます。

病棟看護師として、入院前の日常生活動作を入院中に低下させることなく、

住み慣れた自宅または施設へ早期退院できるようにチームで取り組んでいます。



【5階有料個室】



【6階特浴室】



こちら

安全管理 チームです！

転倒・転落予防について

安全管理 病棟 下田美智子

療養および健康増進の場において、転倒・転落事故を予見する義務と回避する義務が求められています。

世界的には、高齢者の3人に1人は1年間に1回以上転倒するとされており、日本の地域在住高齢者の報告では、年間10～30%の方が1年に1回以上転倒するとされています。厚生労働省の人口動態統計の概況によると、転倒・転落は交通事故よりも多く、交通事故が減少している一方で、社会の高齢化に伴い、転倒・転落は増加傾向にあると報告されています。転倒事故は、加齢によるものだけではなく、筋力低下や低血圧、貧血、薬剤、低血糖などいろいろな要因で起こります。冬場は特に転倒事故が増える傾向があります。

転倒すると、直接的に骨折などの外傷を生じるだけでなく、直接の死因やその後の要介護状態を引き起こす可能性があります。また、転倒を経験してしまうと、外傷の有無に関わらず、転倒恐怖感などの心理的反応を引き起こし、活動性が低下し、結果として要介護状態に進むきっかけとなり得ます。

転倒予防の目指すものとして、

- ①転倒を原因として起こる外傷・障害、寝たきり、要介護状態、死亡事故を予防する。
- ②子供から高齢者まで誰もが、健やかで実りのある日々の実現をはかること。
- ③国全体の医療費・介護費を低減させること。 などがあります。

転倒予防の有効な方法として、特に重要なものは運動です。自身の体調や活動範囲に合わせて、歩行(ウォーキングや散歩)、柔軟運動、ラジオ体操など、無理なく、継続して行う事が大切です。

(日本転倒予防学会では、太極拳がバランス訓練として非常に効果的と報告されていました)

転倒予防は、入院してから行っても間に合いません。普段の生活からしっかり予防していきましょう。



転倒防止のためのチェック項目 (転倒の危機をチェックしてみましょう)	チェック
通路、階段、出口に物を放置していませんか	
床がぬれていたり、滑りやすくなっていませんか	
安全に移動できる十分な明るさ(照明)が確保されていますか	
靴は自分の足にあったサイズのものを選んでいますか	
ながらスマホや携帯電話をしていませんか	
歩くときにポケットに手をいれたまま歩いていませんか	
階段の昇降は、手すりを利用していますか	
日ごろから、ストレッチ体操や体調にあった運動を取り入れていますか	

転倒・転落の5割は 住宅で起きています！

高齢者の4割が一年間に一回以上転倒・転落し、その半数がけがをしています

●その原因は履物と足の運び方の違いにある？



「つかかけ」は危険！ 記憶に残る歩行中の
転倒・転落で原因となった履物

1位 つっかけ 2位 スリッパ 3位 サンドル(夏用)

資料提供：東京都市大学文化創造学部(平成12年度高齢化社会福祉情報調査より)



転倒しないための靴選び

- ①履いてみて軽いと感じる(重いと感
じない)
- ②靴を履いた状態でつま先に1cm程
度の余裕があるもの
- ③つま先が反りあがった形状
- ④開口部が広く脱ぎ履きしやすい
- ⑤素材が軟らかい
- ⑥かかとがしっかりしている(固定さ
れる)

今年度はこくら庵で生活されている入居者様の普段の様子や行事の様子を紹介していきたいと思います！

特別養護老人ホームこくら庵
こくら庵の暮らし

岩屋ユニット 介護福祉士 川本 一人

こくら庵では、入居者様に居心地の良い第二の家だと感じていただけるような施設を目指し、取り組みの一環として外出支援も積極的に行っています。施設全体で行っている初詣やお花見等の他、入居者様それぞれの希望に添って、お買い物や外食、散歩等を個別に対応しています。

また、7階テラスでの野菜栽培、入居者様が先生となってお習字！個人の趣味、特技、そして生活スタイルに寄り添える様、日々試行錯誤中です！



地域連携室より ご案内

理念：衆和会は、透析医療を中心とした24時間対応の腎疾患専門施設として、地域社会に貢献します。
基本方針：1. 自己研鑽により、透析技術の飽くなき追求に努める。

2. 患者の権利を守り、機能的なチーム医療を提供する。

3. 地域の医療・福祉と連携し、入院を必要とする患者の受け皿となる。

		月	火	水	木	金
■長崎腎病院 診療科目 内科、腎臓内科 泌尿器科 診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～17:00	AM	久原医師	原田医師 河津医師 澤瀬医師 (泌尿器科)	河津医師 船越医師 西野医師	久原医師	原田医師 澤瀬医師 (泌尿器科)
	PM	原田医師	久原医師	原田医師	久原医師	河津医師
■長崎腎クリニック 診療科目 内科、腎臓内科 診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～18:00	AM PM	橋口医師				

